



新年のご挨拶



農業振興センター所長 安原 潤

あけましておめでとうございます。
います。

本年が皆様にとって、実り
多いすばらしい年になること
をお祈り申し上げます。

また、平素は本市の農政に
関し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申
し上げます。



神戸市は 150 万人を超える大都市でありな
がら、山の幸、海の幸に恵まれた自然豊かな
農漁業地域を抱えています。本市ではこの強
みを活かし、地産地消のライフスタイル化や
農水産物のブランド力強化を図る「食都神戸
構想」の推進、里づくりによる農村の活性化
など神戸らしい施策の展開によって、農業・
農村の発展をめざしています。

農業振興センターでは特に、競争力のある水
田農業の実現、園芸や畜産のさらなるレベル
アップ、経営力の高い担い手の育成、有害鳥
獣対策をはじめ、「神戸里山暮らし」の実現に
向けた農村定住起業の支援、外国人観光客を
農村に呼び込む「アグリインバウンド推進事
業」等に強力に取り組んでいきます。

今年が一層の飛躍の年となりますよう、農業
振興センター職員が一丸となって頑張ってい
く所存でございますので、よろしく願い申
し上げます。

末筆ながら、皆様のこの一年のご健康とご多
幸をお祈り申し上げ、
新年のごあいさつと
させていただきます。



センターからのお知らせ

米作付の取り組み方針

昨年 12 月に、「神戸市農業活性化協議会」
の「米の数量配分部会」が開催され、29 年産
米の作付けについて、取り組み方針が決定され
ました。

また、生産数量目標については、28 年産並
み（前年比 99.8%）の数量目標が県協議会か
ら市協議会へ配分され、28 年度と同じ割合で
北と西の地域協議会へ配分しました。



農地転用許可の権限移譲について

市街化調整区域の
農地転用許可は、
これまで、農業委員会
で申請を受付け、
審査後、兵庫県知事が
許可を行ってしまっ
たが、平成 29 年 1 月から、
その権限が神戸市に移譲されました。



これにより、事務処理の迅速化がはから
れます。

申請書の宛先が神戸市になる他は、申請
受付、審査内容はこれまでと同様です。

〔お問い合わせ先〕

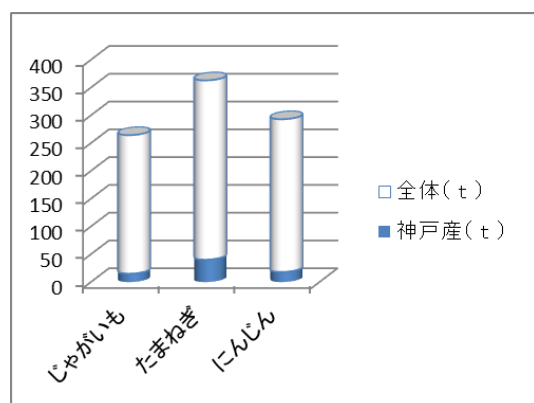
経済観光局農政部計画課地域整備係

TEL : 078-322-5353

「こうべ給食畑推進事業」について

神戸市では、安全で新鮮な神戸産野菜を学校給食へ供給し、地産地消や食育を推進するため、JA 兵庫六甲、流通業者、教育委員会などと連携して「こうべ給食畑推進事業」に取り組んでいます。

特に平成 20 年度からは、給食使用量の 7 割を占めるジャガイモ、タマネギ、ニンジンについて、学校給食へ野菜を供給したいという強い想いのある農家の方とともに組んでいます。また、まだ他県産の占める割合が多い状況です。



現在、北区では、出荷時期が夏休みや冬休みにかかるため、タマネギのみ、西管内では、ジャガイモ、タマネギ、ニンジンに取り組んでいます。この 3 品目は産地交付金の対象となり、北区はタマネギのみで 100 円/ケース、西管内は全品目で 250 円/ケース（※H28 単価）となっています。

学校給食部会に加入し、学校給食へ野菜を供給してみたいという方は、ぜひお近くの JA 営農相談員さんにご相談ください。



淡河営農組合が設立されました

平成 28 年 12 月 23 日（金）、淡河集落で集落営農組合の設立総会があり、淡河営農組合（組合員数 24 名）が設立されました。

これで、神戸市内では、北区で 31（集落数 65）、西区で 33（集落数 102）、合計 64 の集落営農組合が設立されたこととなります。

集落営農組合の設立、集落営農組合の法人化等に関するご相談は、市農業振興センターの里づくりラインにご相談をお願いします。

里づくりライン 担当 朝生 村井 梅基
電話番号 078-975-6860



おせち料理こぼれ話☆

御節供（おせちく）料理が

おせち料理と呼ばれるようになったのは・・・？

第二次世界大戦後のこと。

それまで、家庭で作るのが当たり前だったおせち料理をデパートなどで市販されるようになった時に

「く」を省略して「おせち料理」として販売したから、という話が残っているそうです。